



昭和47年
10月号
発行所 東郷町役場
編集人

自然の美を後世に

川をゴミで汚さない

東郷町には大小合わせて三十の川がありますが、この川は漁業資源、かんがいはもちろん、山とやらんで人人の心を休めてくれる貴重な自然の恵みです。

この美しさを保護することは、都市公害に悩む人たちを思うとき重要な意義を見いだします。

長いこと濁っていた耳川が、九月になってようやく本来のきれいな流れにもどりつつあることはうれしいことです。このことに気づいたとき、心の中にいい知れぬ安心感を与えてくれるのも、耳川のもつ大きな魅力なのでしょう。

ところが、この美しい川にゴミをすてる心ない人がめだつて多くなりました。近ごろでは、町外から自動車にゴミを積んできて、川などにすてる人もいます。

また、美しい川であるために、近くの町からキャンプに訪れる人もたくさんいますが、中にはあと始末が悪いために、地元の人たちのマユをしかめさせています。

町内いたるところでこのようなゴミ問題ができており、このまま放置できない状態です。町でもいろいろ対策を検討していますがとりあえず、このような心ない人たちの良識をうながすように、注意の立札をたてました。

河川を汚すことは法律などで禁止されており、違反者は処罰されます。しかし、ゴミを不法にすてることは管理者の目の届かないところで行なわれていますので、みなさんのゴミをすてない、すてさせない監視と協力が重要です。美しい自然を後世に残しましょう。



ゴミでいっぱいになった耳川の土手

第三日曜日（十五日）は家庭の日

〇……………としておくと便利です……………〇

点滴



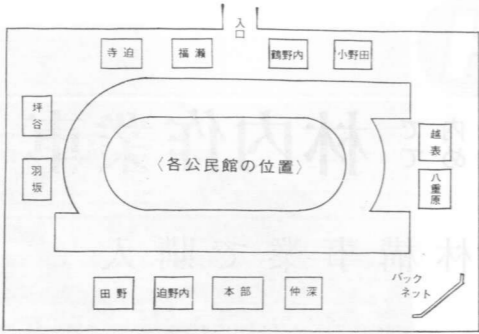
天高く

夜の長いのは冬至（十二月二十二日）が一番ですが、短かかった夏のあとなので、秋の夜の長さがしみじみと感ぜられます

▽天高く、馬肥ゆる…秋を文字で書けばこういうことになりま。都会では見られない光景ですが、あくまでも澄んだ青い空のあるこの町は恵まれています

▽気温が下がり、空気も乾燥したさわやかな秋を迎え、食べものがいっせいにおいしくなりました。こんなときに、たくさん食べて体力を養うことは、やがてやってくる冬の寒さに耐えるために大切なことです。しかし体力をつくるために食べることは、何でも腹いっぱい食べることはちがいます。食べたそのカロリーにふさわしい活動をして、エネルギーを消費しなければ消化不良や栄養の偏重でからだに影響します。大いに食べそれ伴う活動をして、体力の増進につとめたいものです。

秋のおち葉梅檀の木にかけあがり来よと児猫がわれに
きいどめる 牧水



期日 十月十五日
 (雨天のときは十月二十二日に順延)
 場所 町管総合グラウンド

第12回 町民体育祭

毎年開いている町民体育大会はことしから名称を「町民体育祭」と改め、プログラムもみなさんが気軽に参加できるようにと、いろいろと趣向をこらしています。

徒歩とリレーの種目別年齢

〔男子〕

- ▽百歳 二十五歳以下 二人以上(学生、生徒、一般の別)
- ▽六十歳 二十歳から二十六年歳以上 二人以上
- ▽五十歳 二十七年歳から三十二年歳以上 二人以上
- ▽四十歳 三十三歳から三十八歳以上 二人以上
- ▽三十歳 三十九歳から四十四歳以上 二人以上
- ▽二十歳 四十五歳から五十歳以上 二人以上
- ▽十歳 五十一歳以上 一人以上

〔女子〕

- ▽百歳 二十五歳以下 二人以上(学生、生徒、一般の別)
- ▽六十歳 二十歳から二十六年歳以上 二人以上
- ▽五十歳 二十七年歳から三十二年歳以上 二人以上
- ▽四十歳 三十三歳から三十八歳以上 二人以上
- ▽三十歳 三十九歳から四十四歳以上 二人以上
- ▽二十歳 四十五歳から五十歳以上 二人以上
- ▽十歳 五十一歳以上 一人以上

計画的に新刊を購入して、図書充実をはかります。

▽館長室と事務室、館長と職員との事務室と応接室です。

▽相談室 育児や健康などの相談のために使う部屋です。

▽談話室 だれでも気軽に話し合えるところで、大集會室は禁煙になりますのでタバコはここではすっていただきます。

▽大集會室 体育やレクリエーション

▽会議室 少人数の会議や青年学級、定期講座などの教室として利用します。

▽調理実習室 調理講習のときの実習に利用します。

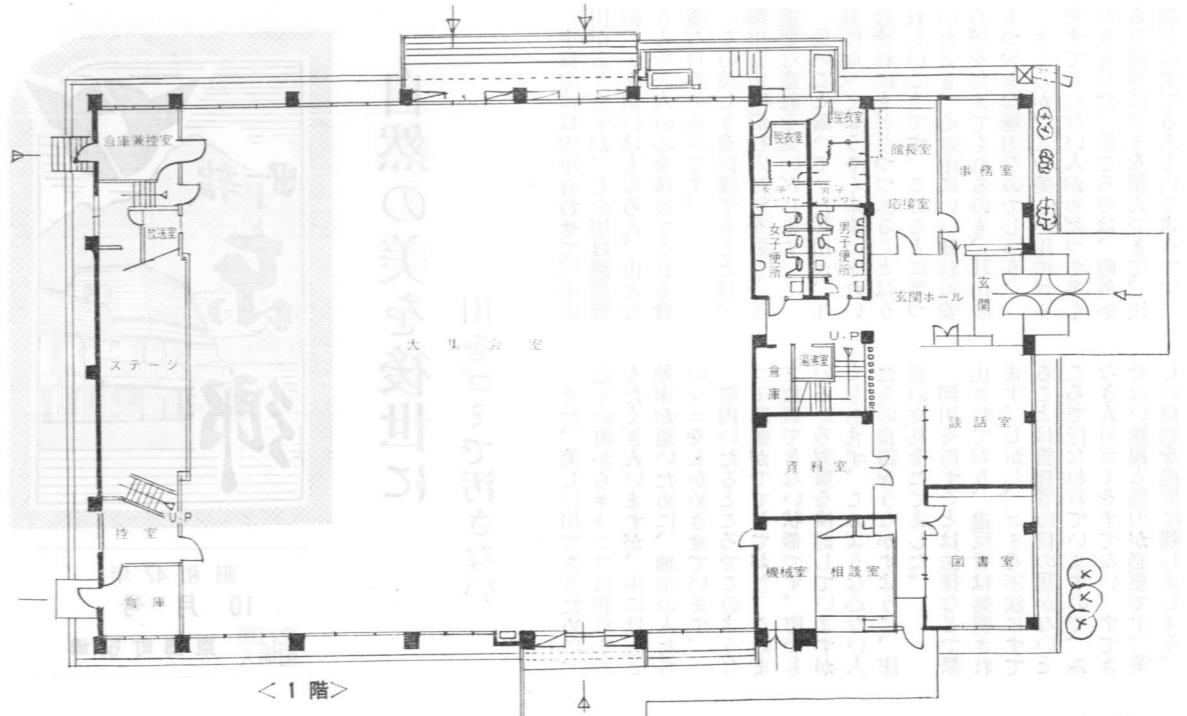
▽和室 生花や茶道の研修室です

二階では結婚式もできるようになっています。また、四十八年度からは定期的に講座を開くことにしています。

▽視聴覚室 映画やスライドを映写する装置が備えつけてありいつでも映画などを見ることが出来ます。

△二階▽

▽視聴覚室 映画やスライドを映写する装置が備えつけてありいつでも映画などを見ることが出来ます。



中央公民館

社会教育施設の拠点

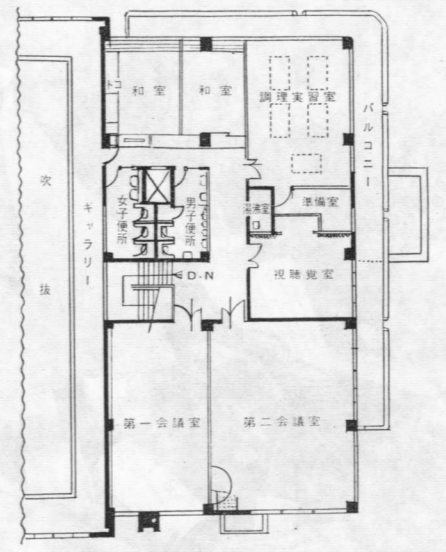
明治百年記念事業の一つとして最後に残されていた中央公民館を町管総合グラウンド敷地内に建設することになり、近く工事をはじめます。完成するのは来年三月の予定です。

わたしたちは、町民憲章のなかで健康で文化的な生活をめざしています。

さらに、本町の社会教育の方向づけも、中央教育審議会の答申にしたがって、学校、社会、家庭が有機的な連係を保ちながら、より豊かな人づくり、町づくりを中心課題にしています。

そして、青少年をすこやかに育て、民主団体の育成と社会教育の振興を重点にとりあげています。

このような、本町社会教育の活動の拠点として中央公民館を建設



鉄筋二階建

この中央公民館の平面図(略図)は別記のとおりですが、便宜上、公民館部分と大集會室とを切りはなして施設の説明をします。

建物の面積は、一階の公民館が三百七十平方メートル(約百二十二坪)、大集會室が八百三十二平方メートル(約二百五十一坪)、公民館の二階が三百六十四平方メートル(約百十坪)で合計千五百六十六平方メートル(約四百七十三坪)となります。

建物の構造は、公民館が鉄筋コンクリート、大集會室が鉄骨づくりで、全館冷暖房ができる施設もつくりまします。

この公民館の建設費は七千二百万円で、このうち国の補助金が六百万円、起債が三千九百万円の予定です。

大集會室でスポーツ教室

施設の概要

△一階▽

▽資料室 郷土資料と民俗資料の保存と展示をします。資料は文化財保存調査員が調査したもののほか、みなさんご協力をお願いして、充実した資料を展示したいと思えます。

▽図書室 いままでの千二百冊の蔵書のほかに、これから毎年

歌人黒木傳松のこと

ことしの牧水祭では、熊本の歌人黒木傳松さんが、晩年における熊本の黒木伝松を語り、聞きいる人々に大きな感動を与えた。

日向に生まれ東郷で育った伝松さんが、牧水を師として多くの名歌を残して、昭和四十二年十一月十八日、熊本県菊池郡泗水で六十七歳の生涯を終えるまで、清貧に甘んじながら、歌道に精進し、残した数数の業績もさることながら黒木伝松の師伝松を思うあふれる至誠に泣かされたのである。

山陰、羽坂、追野内の小学校が合併したのは大正七年で、私は小学二年生であった。

随想

はじめて鶴野内の東郷小学校に移ったのであるが、学校の下に大きなせんだんの木があり、その下にかじ屋があった。そのかじ屋に片手ではいつも書物を読みながらふいごを動かしている、色白の青年がいた。学校の帰り道、よくかじ屋によって、まっかに焼けた鉄眼をみはったものである。この青年が後の熊本歌壇を動かし、数数の名歌を残した、若き日の伝松さん

終戦の年であったと思う。甲斐善平さんから伝松さんの書かれた二枚の短冊をもらった。

○雲雀一羽なきのぼりやがて消えしかば何事もなき空の青かも

○秋の野の野路のひそやか枯草はその葉より葉に影むとしるて

というのである。私のこの二つの歌でにわか伝松という人に対する活眼が開けた。

そのころ伝松さんは山陰を出て同郷の師若山牧水をたずね上京した。さんさん苦勞をしながら道路工夫、工場の工員となり、歌の勉強をしたが関東の大震災にあい、熊本に帰り、独学で免許をとり、小学校の教員、鹿児島で高等女学校の教諭などを歴任した。

その後戦災で無一物となり、再び泗水で野かじを開業していたのである。私は伝松さんの家を二回たずねて、夜を徹して語り合った。柔和な人柄のなかに燃えるような熱情を感じた。その後、牧水祭には二回ほどご足労をねがっている。

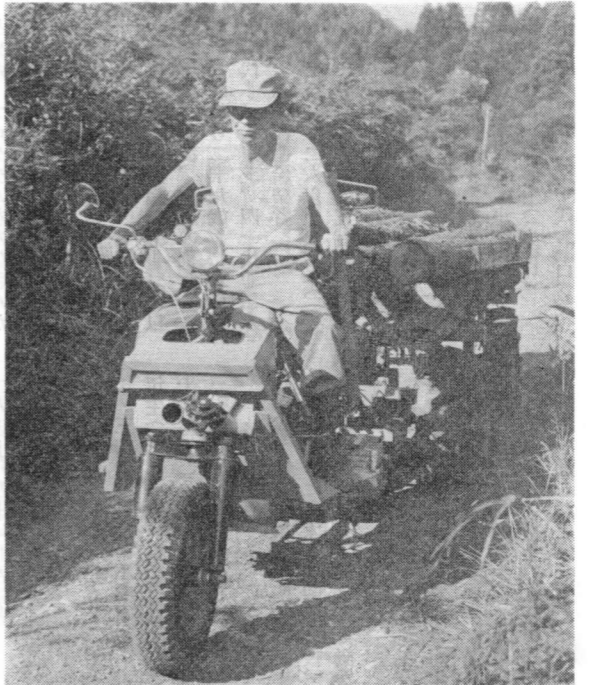
いま「野鍛冶」「野鍛冶以後」ほかの歌集があるが、いずれもふるさと東郷を思う歌が多い。

東郷に育ったこの純粋な歌人黒木伝松さんを、なんらかのかたちで残したいと思うこと切なるものがある。(小野 弘)

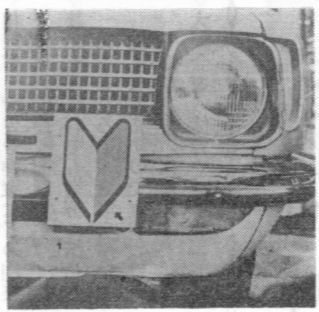
林内作業車

県内初めて購入

林構事業で購入



初心運転者の標識



このほど道路交通法が一部改正され、普通免許を受けて一年に満たない人が普通自動車運転する

ときは「初心運転者標識」をつけることが義務づけられました。この標識は十月一日からつけなければならず、昭和四十六年十月一日以降に普通免許を取得した人は、標識をつけていない普通自動車を運転すると、一万円以下の罰金または科料に処せられます。標識は自動車の前と後にそれぞれ一枚、地上〇・四以上一・二以下の位置に前方または後方からよく見えるように表示します。表示するところは、前面のガラス灯火装置、ナンバープレートの上以外のところなら別に規定はありません。標識は日向地区交通安全協会で見取っています。

ことしから三カ年計画です。すすめている林業構造改善事業の追加事業で、森林組合が「林内運材車」を購入しました。

むかしから「山を買うなら道を買え」とか「立木を買うなら出しを買え」といわれていますが、いまは集材機などの機械化が進歩してきています。

林業作業道も毎年一万を開設し、四十七年度末には総延長三万になる見込みです。しかし、この作業道は林道とちがって、安く作るためにカーブや急勾配の急なところもあり、トラックが楽に通れるところはあまりありません。そのうえ、間伐材やしいだけ原木を搬出するのに架線を使えない

立木価格を高めるため

このようにとき、いままでは木馬や人力にたよるしか方法はありませんでした。いかに価値の高い木材でも、搬出に経費がかかりすぎてはなんにもなりません。

立木価格を少しでも高めるためには、こうした面での工夫を考えなければならぬわけです。苦勞の多い林業者のために、安く、性能の高い車としてつくられたのがこの林内作業車です。この車の特徴として①小さなエンジンで大きな力②急な坂でもドンドン登る③曲りくねった道でも

農地移動の申請

農地法では、農地の売買(三)条(五)条)など農地の移動には、農業委員会会長または県知事の許可が必要です。

いままでは、このような許可をうけるための申請書には、地元農業委員の認印を押して、提出することになっていました。これは、審議をスムーズにするためによいことですが、半面、土地利権にからむ問題を誘引

平気④狭い道でも苦にしない⑤ぬかるみでもメリこまない⑥デコボコ道でも積荷は安定⑦運転免許は普通自動車免許で乗れる——ことなどがあげられています。この林内作業車は主に関東地方に普及していますが、このたび森林組合が購入した車が県内で最初のもので、将来は第二次林業構造改善事業で取り上げる計画です。林業にかぎらず幅広く使用できるこの車が、町内いたるところの林内を走り、そのもてる力で急坂や曲折の難所を乗り越え、林家の林産事業に大きく貢献することを期待します。

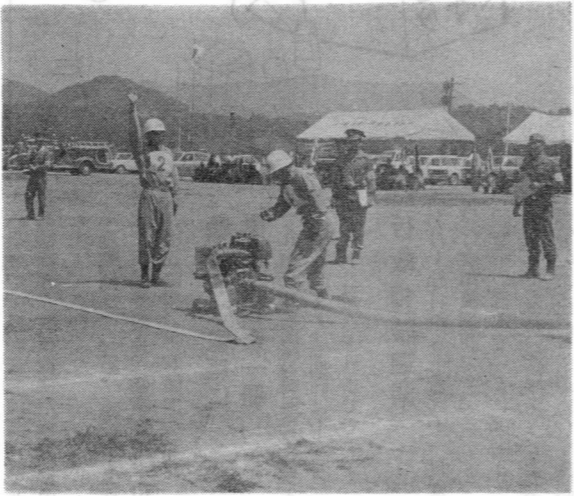
なお、この林内作業車は森林組合で管理していますので、ご覧になりたい人は森林組合におたずねください。

今後、みなさんが農地法による許可申請書を書いたら、すぐ農業委員会事務局に出してください。事務局では申請書を受け付けたらすぐに、地元委員に連絡します。なお、みなさんから地元委員に口頭でもご連絡いただくと、審議上でたいへん便利です。

また、農業委員会では近く、植林などの無断転用の実態を調査します。農地に無断で植林などしている人は、ただちに農地法四(四)条による転用許可申請をしてください

消防の操法大会

九月二日に町営グラウンドで、日向地区の消防操法大会がありました。大会には、日向市をはじめ入郷の各町村から、自動車ポンプの部に三チーム、小型ポンプの部に十二チームが参加し、日ごろ訓練を重ねたポンプ操法の技を競い合いました。



町道の改良

東郷橋—稲葉野線



町道東郷橋—稲葉野線で道路拡張などの改良工事がすすんでいます。来年一月完成の見込みです。この路線の総延長は六千八百メートルですが、そのうち東郷橋からワラビノまでの三千四百メートルが一級町道です。

しかし、道路の状態は危険なところが多く、狭いところは二メートルの道幅しかありません。このことから、道路の維持管理にも問題があり、抜本的改良の必要にせまられていました。そして、ことしから三カ年計画で国の公共事業で改良します。ことしは旧東郷橋上の危険なところの百四十メートルを改良し、道幅を四メートルにします。

本町教育百年の歩み(十)

塩月儀市

- 教育委員会の設置
本町に教育委員会が設置されたのは昭和二十七年十一月です。教育委員会設置の目的は「教育が不当な支配に服することなく、国民全体に対し直接責任を負って行なわれるべきであるという自覚のもとに、公平な民意により、地方の実情に即した教育行政を行なうために、教育委員会を設け、教育本来の目的を達成することを目的とする」とあります。
- 各種講座の開設
本町では公選によって五人の教育委員が選ばれましたが、昭和三十一年には公選制が廃止され、任命制となり、三名の委員が任命されました。昭和三十六年に委員数が五人に改められました。
- 各種講座の開設
在村青年の学習の場として、昭和二十五年七月、中央公民館に青年講座を開設し、週一日、普通教科、職業教科、体育レクリエーション、ホームプロジェクトを学習しました。
- 婦人講座は昭和二十六年四月各小、中学校に開設し、月一日から二日間、家庭教育、育児、料理、時事問題、保健体育などを学習しました。
- 成人講座は昭和二十五年七月から各公民館で随時開講し、政治、職業、一般教養を学習しました。
- 各種学級の開設
昭和二十八年八月青年学級振興法の制定で、青年講座を青年学級に改め、各小学校区に一学級を設置しました。
- 婦人学級は昭和二十八年八月に婦人講座を婦人学級と改め、各小中学校に併設しました。
- 養育学級は昭和三十六年二月から中央公民館に開設しました。
- 家庭教育学級は昭和三十一年四月から各小、中学校に開設して、両親の教育に役立っています。
- 道徳教育と学力調査
道徳教育は昭和三十三年四月から週一時間特設されました。
- 昭和三十六年に文部省は全国中学校生徒の学力調査を行ないましたが、日教組が反対して全国的には相当混乱もありましたが、本町では無事行なわれました。
- 学校給食の実施
寺迫小学校は昭和三十四年四月から完全学校給食を実施しましたが、他の学校は昭和三十八年にミルク給食をはじめ、昭和四十一年までには町内全校で完全学校給食に切替えて、児童の健康の増進に役立てました。
- 学校林の経営
昭和二十五年から学校教育の一つとして各学校に、学校林を設定して、父母の協力を得て経営にあ

お知らせ



に支給されます。

戦没者関係 日華時変（昭和十二年七月七日から昭和十六年十二月七日）の間に内地や満州などで勤務した陸海軍の軍属が、公務の傷病で死亡したときにも遺族年金または遺族給与金が支給されます。

恩給法・援護法
などの一部改正

特別弔慰金関係 援護法による弔慰金をうけた戦没者の遺族で、昭和四十七年四月一日までに公務扶助料や年金などをうける人がいなくなっているとき、戦没者の兄弟姉妹までのうち、先順位の遺族

公務傷病または勤務関連の傷病で昭和十六年十二月八日以後に死亡したときは、弔慰金が支給されます。
戦傷病者関係 日華時変の間に内地や満州などで勤務した軍人、軍属が公務で傷病にかかって、第五款症以上の不具廃疾の状態にあるときにも障害年金または障害一時金が支給されます。

また、戦傷病者手帳や療養給付などもうけられます。

○別給付金関係 昭和四十六年の法律改正で、遺族年金などをうけられることになった戦没者の妻や父母、障害年金などをうけられることになった戦傷病者の妻にも特別給付金が支給されます。

出かせぎ相談

十月二十三日の午前十時から午後三時まで、老人福祉館で、日向公共職業安定所から来て出かせぎ就労者の職業相談があります。

就労あつせん、留守家族、労働災害、賃金不払など出かせぎに関するすべての相談に応じます。

技能検定

受験希望者は十月二日から十月十六日まで、県職業訓練課と県立職業訓練校、県技能検定協会へ申込んでください。

実施職種は、一級、二級とも建築大工、建築板金、建築製図、和裁、中衣縫製、時計修理など。

執務やご家庭に
県民手帳を一冊

一九七三年版の宮崎県民手帳をあつせんします。期間は十一月一日から十二月二十日までです。

行政相談週間

十月十五日から十月二十一日までは行政相談週間です。国や県の行政で「これは困る」「こうしてもらいたい」など要望や苦情のある方は、遠慮なく相談

今月の納税等

国民健康保険税 第三期
町 県 民 税 第三期
納期 十月三十一日
水稲共済掛金 第四期
納期 十月三十日

においでください。お忙しい方は文書や電話でも結構です。

行政相談員

小野田 塩月儀市

電話 山陰局 七三九三

鈴峰園だより

九月十五日は敬老の日で、この日から一週間は敬老週間でした。町内でも敬老会などが催され、おとしよりにあたたかい心を寄せていただきました。

鈴峰園に、敬老の日にさきがけて「大阪市みなみ宮摩霧枝さん」という人から十万円いただきました。鈴峰園ではお礼を申しあげたいと、この美しい心の持主をさがしています。お心あたりの人は教えてください。

金額の多少は敬老の心の軽重にはなりません。鈴峰園ではこのお金を基金にして、おとしよりのために、有意義に使わせていただきたいと、園内一同で話し合っています。

敬老の日は十五日だけで終わってしまつてはならないと思います。毎日の家庭の日でも、おとしよりを忘れずにおすごしください。

戸籍だより

八月届出分

出生 おめでとう

赤ちゃんの名	父の名	部落
田 辺 紀 仁	英 雄	福 瀬
稲 田 秀 和	茂	八 重 原
仁 田 要 弘	幸	小 野 田
谷 口 直 美	勝 義	福 瀬
寺 原 弓 夏	弘 勝	小 野 田

死亡ご冥福を祈ります

氏 名	年令	部落
塩 月 寿 子	六 八	福 瀬
矢 野 今 朝 市	七 五	坪 谷
甲 斐 フ イ	八 三	八 重 原

人 口	77年8月1日現在
	()は対前月比
男	3,400人 (+11)
女	3,685人 (+1)
総 数	7,085人 (+12)
世帯数	1,767世帯 (+1)